

欠席委員事前意見聴取について

（資料 5、5－2）

○現計画の主な成果及び進捗状況について

評価指標として数値も大事だが、数値だけでなく内容への評価も大事。参加者数が減少しても、参加者が内容に満足していれば評価に値するもの。また事業管理者がどれだけ集客方法等に対して、考えて取り組んできたかという観点も評価として大切だと思う。

（資料 6－2－（2）

○災害・緊急時対応について

（１）設問「災害に関する地域活動への参加意識」に対して、「外国人同士の協力体制」が上位に挙がっているが、外国人同士だけの協力及び解決は、「共助」の観点からは望ましくない。日本人は高齢化が進んでいる一方、外国人は比較的若い人口が多いことから、災害・緊急時に共助しあうことが大切であり、日本人・外国人を分けて「それぞれ頑張りましょう」とするのではなく、日頃から外国人に日本人のルール・文化を知ってもらい互いに協力していく「共生」という感覚が大切。

（２）外国人比率が 4.2%を超えると外国人とのトラブルが顕在化してくる傾向があると言われている。現在、板橋区は外国人の割合が 5%を超えており、トラブルが発生することを想定して、事前に外国人に日本のルール・文化を理解してもらう必要がある。例えば、日本人が前提としている「自分以外の人のことも考える」というルール・文化を知らないばかりに、避難所等における行動によっては自分本位と思われるような誤解を生む可能性もある。

（資料 6－3－（１） P 3）

○伝統文化の保存・継承・周知について

区民アンケート「今後区が重点的に取り組むべきこと」で、「伝統文化の保存・継承・周知」が上位にあるが、何をもって伝統文化とするか、また何をもって保存・継承・周知とするかは人によって意見が分かれる。ただ保存すればいいという訳ではないという意見もある。アンケート結果ではそこが明確にはなっていないので、今後取り組むにあたっては議論をしていくことが必要である。

（資料 6－3－（２） P 4）

○日本人と外国人との交流機会創出について

区民アンケート「今後区が重点的に取り組むべきこと」で日本人、外国人ともに互いの交流機会創出が上位に挙がっていることから、ビジョンに静的だけでなく、動的な観点を取り入れることが必要。互いの文化が、互いの人を通じて流動するような取り組みが大事。何か見せる、物で何かするだけでなく、互いに会話交流できる機会創出を行なっていくために、区は橋渡しをすることが必要ではないか。